

やまきたヘルパーネットワーク ミニ定例会 記録

場所：ショートステイ サンサン 日時：9月26日（金）10:00～12:00

出席事業所 (敬称略)	(居宅) サポートセンター五ヶ庄、居宅介護わくわく、ヘルパーステーションそらいろ
記録	<p>司会：秋篠（そらいろ）</p> <p>1. あいさつ、資料確認</p> <p>中野(そらいろ) ：前回のヘルパー話そう会はサポートステーションあんで行った。身近な話題が多く、最初緊張はあったが最後の方は盛り上がった。今日もざっくばらんな感じで話ができればと思い企画している。</p> <p>2. 参加者自己紹介</p> <p>3. 意見交換・グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1対1のヘルパー支援中ヘルパーがトイレに行きたくなった時どうするか → ・ (利用者にもよるが) 一緒に身障者トイレに入ってもらおう <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの中から声かけし続ける ・ 見失いそうな利用者のとき、また、見失ってしまった時の対応 → ・ 当日の服装を写真に撮っておく (検索があった場合役立つ情報なので) <ul style="list-style-type: none"> ・ GPSをつけている利用者もいる ・ 建物の中なら出入り口が1箇所ならすぐ出入口へ行き待機 ・ 日頃から利用者の趣味趣向や行動パターンを把握しておく ・ 利用者の事故物損、他害があった時の対応 → とにかく平謝り ・ 独語がある利用者と交通機関を使うときに気をつけていること → ・ 注意しているということを周囲にアピールする <ul style="list-style-type: none"> ・ 端の席を使う ・ おすすめの行き先は？ → ・ 百貨店の展示会 (手帳提示で無料) <ul style="list-style-type: none"> ・ 星のブランコ ・ 比叡山

- ・ 鶴見緑地プール
- ・ アクアアリーナ
- ・ 扇町プール
- ・ 笠置憩いの館（もうすぐ閉館）

・ 保護者の意向と本人の意向が違うときは？

→ ・ よく聞き取りをする

- ・ 保護者の苦勞をよく聞く
- ・ 保護者の言い分が正しく勉強させてもらうこともある

・ ヘルパー間の対応の共有について

→ ・ 今までは対応を揃えようと神経質だったが余裕を持って見ている（ただ、情報は上げてもらう）

- ・ 対応の多少の違いがあっても利用者の人性経験に繋がることもある。

・ 自閉症の方への各事業所での支援方法

→ ・ カードや PECS はほとんど使わない（過ぎし自体がしっかり固定化しているので）

・ アセスメント段階で（外出の）予定の変更の仕方や切り替え方を聞いておく（変化に弱い方で、外出にイレギュラーはつきものなので）

- ・ 事前のアセスメントを大切にする
- ・ 状況を理解してもらえるような工夫をする
- ・ 事前に予定を伝える
- ・ 写真カードをできるだけ使用しコミュニケーションできるようにする。

・ 街中で座り込み（自動販売機の前で）のある利用者の対応について

→ ・ こだわりの対象を避けるように外出計画段階で工夫する

- ・ こだわりの対象物を隠す
- ・ 保護者と帰る本数や場所を決める
- ・ 視覚的なスケジュールを使用する
- ・ スケジュールに本人の楽しめる活動を盛り込みそちらへ誘いかける形にする
- ・ おやつで気をそらす
- ・ 友人がいるなら友人とグループで行動。

4. 連絡事項

・ 今後の活動予定

中野：ある程度規模のある定例会もしたい。社労士を招いての居宅事業所における「働き方改革」も考えてみたいテーマ。他にも取り上げたいテーマがあればご連絡いただきたい。